

子ども会育成会
ハンドブック



小郡市子ども育成課

令和8年2月発行

目次

考えよう！望ましい子ども会運営について	・・・	1～3
やってみよう！子ども会活動	・・・	4～5
子ども会で行うゲーム	・・・	6～7
子ども会活動を安全に行うために	・・・	8～9
活用できる制度	・・・	10
活動チェックシート（資料①）	・・・	11～12
年間計画（様式1）	・・・	13
行事計画（様式2）	・・・	14
活動記録（様式3）	・・・	15
引継ぎ書（様式4）	・・・	16

考えよう！望ましい子ども会運営について

現在の子どもたちから失われた3つの間、とは？

時間

習い事や塾に費やす時間が増え、子どもたちが自分たちで考える時間が以前と比べて少なくなっています。

空間

原っぱや広場が減り、子どもたちが自分の想像力や知恵を働かせて自由に遊べる場所が少なくなっています。

仲間

学校での横のつながりは強いのですが、地域の異年齢で遊ぶ姿を見ることが少なくなっています。

これらの間を補うためにも、子ども会活動は大切な役割りを果たします。

○子ども会とは

子ども会は、みなさんの地域の子どもたちで構成される異年齢の組織で、仲間集団のもつ形成力と活動を通して、よりたくましい子ども・子ども集団を実現しようと活動しています。

また、家庭・学校では、得難いけれど、子どもの発達にとって不可欠な経験を与えられるように、家庭・学校と地域の連携を保ちながら、活動を進めていくことが大切です。

子ども会活動では、遊びによって教育的配慮をもった活動を行うことにより、年上の子どもはリーダーとしての教訓を自ら学び、年下の子どもは成長の目標を年上の子の姿から学ぶというような、縦の仲間づくりによる集団活動を行うことができます。さらに、子どもと大人が遊びを通して、地域を基盤とした活動を行うことにより、地域のつながりが強まります。

○子ども会育成会（保護者）のポイント

育成会は、子どもの成長を願う大人の立場から『子ども会の運営』を見つめて、サポートしていくものです。ここで大事ななのは、育成会はお世話役としてあくまでも見守りに徹しましょう。

育成者の心構えとしては、子ども会の行事の計画・実施にあたって、子どもたちが自分自身でできること、あるいは自分たちですべきことは子どもに任せてみましょう。

また、子どもたちだけでは困難な場合は、言葉掛けだけでなく、大人が事前に見本を示したり、子どもと作業などを一緒にやってみたり、子どもが作業等に慣れてきたら少しずつ任せたりするなどしてもよいでしょう。

子どもたちが危険な行為や人を傷つける行為など、社会ルールに反するような行為を行った場合は、その場で何がいけないのかを説明し、きちんと指導しましょう。指導者（大人）の気まぐれな叱責は、子どもの心を傷つけます。子どもに対する深い理解と愛情をもち、情熱を傾けることによって、好ましい信頼関係を日ごろから築いておくことが大切です。

○子ども会活動のいろいろ

子ども会活動には、子どもひとりひとりが自らの意見を素直に伝え、また、他者の意見を尊重していく中で共通の理解を深めていく「話し合い活動」と、みんなで協力して行う「行事活動」があります。行事活動には、子どもの仲間意識を育てたり、創造性や体力を育てたりするための、キャンプ・映画会・お楽しみ会などがあります。これは、計画→準備→実施→反省・評価の過程そのものが重要で、子ども達はこれらを通じ、色々なことを体験的に学習します。

【社会的なもの】

社会活動 … 夏祭り、夜渡、セタみこし、クリスマス会、餅つき、鏡開き、左義長 など

奉仕活動 … 町内清掃・美化作業・草取り、敬老会 など

安全活動 … 子ども会KYT(危険予知トレーニング)、防犯安全教室 など

【文化的なもの】

文化芸能活動 … 地区文化祭 など

創作活動 … しめ縄作り、灯籠作り など



【体育的なもの】

スポーツ活動 … ラジオ体操、ウォークラリー など

レクリエーション活動 … ペタンク大会、グランドゴルフ、ボウリング、バスハイク など

○計画を立てる時のポイント

計画すべきものとしては、一年間を見通して活動名を挙げる「年間計画」と、一つの行事を行うにあたっての詳細まで決めた「行事計画」の二種類があります。

《チェックポイント》 ※活動チェックシート〈資料①〉で確認してみましょう

- ①子どもの意見や希望は大切にしていますか
- ②活動それぞれの目的は明確ですか
- ③活動の種類は偏っていませんか(社会的／文化的／体育的)
- ④バランスは取れていますか(低学年向け／高学年向け／全員で取り組むもの)
- ⑤子どもたち自身の手で成し遂げることが可能なものですか
- ⑥タイミングは適当ですか(時期・季節に合っているか)
- ⑦その他(予算面／場所の確保／マンネリになっていないか)

○新役員が決まったら…

はじめに、新年度役員名で子ども会・子ども会育成会役員名簿を作成し、市役所子ども育成課に提出します。昨年度の役員さんとの引き継ぎをもとに、さらに必要なものを取り入れながら地域の状況や子ども会の実態などを考えあわせて年間計画表(様式1)を作成しましょう。

○役員会議の進め方

子ども会の行事計画を立てる時など、役員会議が必要です。スムーズにより良い会議となるよう参加者への案内・議題を準備しましょう。1つの行事に対して、1枚の行事計画(様式2)を作成するとよいでしょう。

～会議の流れ～

まずは『自己紹介または、一人ひとり挨拶』→自由に話しやすい雰囲気づくりを!

*司会者を決めましょう(議案を説明する会長以外の者が望ましい)

- ①議案書(レジュメ)に沿って司会者がすすめる(行事計画をもとにしてもよい)
- ②参加者全員の意見を聞く
- ③議事録の作成(書記係)→「目的」「事前準備」「プログラム」「係分担」
- ④決めることは具体的に→「いつ/誰が/なにを/どのように」
- ⑤次回の日程、または、活動事業開催当日の集合時間・場所、確認事項を決める

○会計について

会計は帳簿を付け、行事ごとに収入・支出を正確かつ迅速に適切に処理しましょう。決算書には必ず領収書を添付・保管しましょう。

また、総会においても予算・決算は重要なもののひとつです。見やすい予算書・決算書を作成しましょう。一つの行事計画に一つの会計でまとめると、分かりやすいです。

《注意点》

- 事業費は年間の事業計画から必要とする予算を算出して計上しましょう。
- 事務経費はなるべく節約しましょう。
- 会議費は施設使用料(空調費など)、茶菓子代などに使用しましょう。
- 収入、支出ともに合計が一致するようにしましょう。

校区や子ども会によって、運営形態はさまざまです。予算・決算書もその団体に合わせて作成しましょう。監査を置くことが望ましいでしょう。

やってみよう！子ども会活動

○子ども会行事の開催

子ども会行事の内容が決まったら、参加者名簿を作成し、活動当日には必ず出欠をとりましょう。また、活動をスムーズに行うためにも、「子ども」・「保護者」の名前がわかる名札があるとよいでしょう。安全のためにも、活動中は必ず名札を付けるようにしましょう。

準備や実施に当たっては、子ども達と保護者それぞれが「一人一役!」、全員で進めていく事が大切です。また、実施後は反省会をし、次の行事をよりよいものにするために活かしましょう。

①【約1ヶ月前】役割分担や段取り決め（準備段階と行事当日について）

②【～前日まで】準備作業（必要な材料や用具の調達、広報）

③【当日】行事活動実施、後片付け（受付、司会進行、活動記録・撮影）

④【後日】反省会（ふりかえり、記録まとめ）

子ども達にできそうなことは、思い切って任せてみましょう！

それがきっと子どもたちの意欲につながります！！

活動を続ける中で、子どもにいかに興味をもたせながら、実力を伸ばし、自主性を育てていくかが、みなさんの腕の見せ所です！

○活動記録について

活動記録（様式 3）を活用し、記録をとっておくことは、子ども会の活動を続け、発展させていく上で大切です。記録が残っていれば、次の活動をする時や計画を立てる時に、前回（前年）の活動を参考にしたり、改善したりできます。保護者の役員引継ぎの際にとっても役立ちます。

《活動記録の内容》

◇場所・日時・参加人数

◇事前準備・プログラム

◇良かった点・反省点・感想など

◇安全面（注意点）

1つの行事に対して、

○行事計画（様式 2）

○予算・決算

○活動記録（様式 3）

3枚で1つの行事が完結します

※様式を決めて（様式 3）を参考に、記録用紙を作っておく。

書面以外に、写真やビデオの撮影記録を撮っておき、撮影ビデオをお楽しみ会・お別れ会などで上映すると喜ばれます。

○保護者の引継ぎの仕方

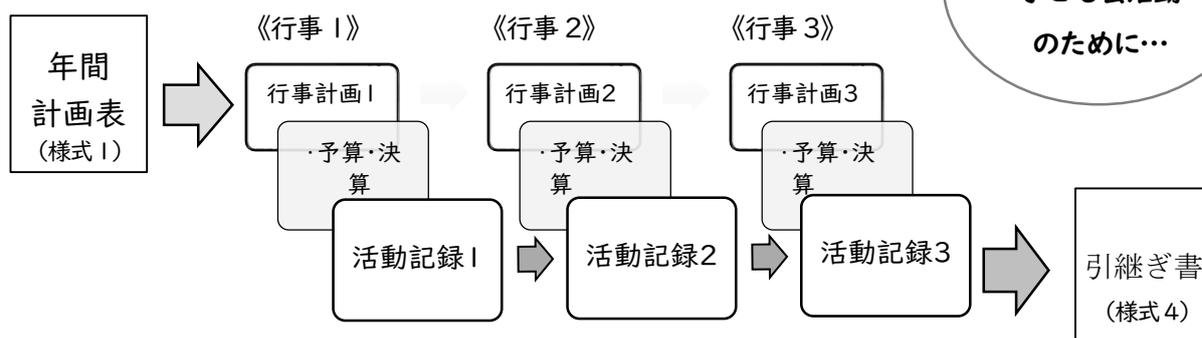
子ども会は、構成員の顔ぶれは変わっても、ずっと存続していくものです。

保護者の方は、役を引き受けた時から、いつか必ず来る引継ぎの事を念頭に置いて、日頃から活動記録をとっておくなど、準備しておくことが大切です。また、大きな行事の時は、次期役員も参加して、様子を知ってもらいと、次年度の活動がやりやすくなります。

- ◇書類やその作成方法の引継ぎ
- ◇前年度の事業の経過説明
- ◇前年度の会計収支の説明
- ◇当面している課題の確認
- ◇関係団体との連携について

※ただ前年度のやり方を踏襲するのではなく、引き継いだ反省点をもとに、思い切った見直しを加えることも必要です。

○年間計画表から引継ぎ書まで ※(様式1~4)参照



○育成者として学べるもの

新育成会員や新役員になって何もわからないまま始めたものの、1年を経たころには必ず「やって良かった」と思えることが多く出てくると思います。明るく、前向きな姿勢で人間関係を大切にしながら、地域の活性化につながる取り組みにしていきましょう。運営や指導などに携わる経験を通して、子どもの成長とともに、自分自身の成長を感得していくことができます。

さあ、皆さんもやってみませんか？

☆役員を経験した人は…☆

- ・お互いが分かり合える良好な人間関係ができる。
- ・近隣の子どもたちを通して、子どもの素顔を知ることができる。
- ・聞く、話す、書く機会に恵まれる。
- ・人の考え方は多様であり、様々な考えに触れることで、視野が広がる。
- ・ほう(報告)・れん(連絡)・そう(相談)の大切さを知り、協調性が磨かれる。
- ・子どもとの触れ合いが、一番の健康法となり、若返りも期待できるかも…。



子ども会で行うゲーム

○計画から実施、反省会までの流れ

子ども会で実施するゲームは楽しいプログラムのひとつです。その場を楽しく盛り上げるほか、状況や参加者にあわせて選ぶゲームの種類によって、子どもたちの協調性やリーダーシップを育むことができる、大切なプログラムでもあります。

《計 画》

- ①時 期:ゲームと言っても、難易度はさまざまです。年度初めか途中かにより、子どもたちの状況も違うので、子どもたちの状況にあったゲームの内容を決めましょう。
- ②場 所:参加者に見あった場所(行きやすさ、広さ、安全性など)を選びます。
- ③参加者:人数、学年の範囲、保護者(育成者・指導者)の参加の有無の確認。
- ④計 画:当日のプログラムの流れの確認をします。ゲームリーダーを決めましょう。

《実 施 ～ ゲームをやってみよう!》

- ⑤ルール等は事前に紙に書いて貼るようにします。また、タイムキーパーを決め、プログラムの流れを管理します。(当日の司会進行役でも OK)
- ⑥集合・整列はその後のゲームの流れに移りやすい形で、リーダーは自己紹介(アピール)を短時間でいきましょう。
- ⑦開始にあたって
 - ・ゲームリーダー(1人)の指示に従い、他の人は何かあった時にフォローしましょう。
 - ・まずは低学年でもムリなくできるものから始めましょう。
 - ・5,6年生にゲームリーダーになってもらい、「役割意識」をもたせましょう。
- ⑧終了は、必ず勝敗を決める必要はありません。楽しいところで終わりましょう。また、片付けは、できるだけ皆で行いましょう。
 - ・担当したゲームは責任を持って最後まで行きましょう。
 - ・声のトーンに気を付け、声はなるべく抑えて。指示は紙に書いておくと良いですよ。
 - ・ゲーム内容の配分に気をつけましょう…動的なもの、静的なものを組み合わせましょう。
 - ・グループごとの勝敗があるときは、トラブルを避けるためにも審判員を適宜おきましょう。

《反省会》

ふりかえりは必ず行きましょう。次回に活かせることを皆で確認しておくことが大切です。

○さまざまなタイプのゲーム

《いろいろ後出しじゃんけん》

- ①リーダーが先に、参加者が後にじゃんけんをだす。
(この時、リーダーと同じ、じゃんけんの手「あいこ」を出すようにつたえる。)
- ②慣れてきたら、「あいこ」の次は「リーダーに勝つ」「リーダーに負ける」の順序で展開します。
最後に「あいこ」に戻り、全員で同じ手をだす安心感でゲームを終了する。
- ③手だけでなく、足じゃんけんでも OK。リーダーはなにを出したか、はっきり示す。

《お誕生日ゲーム》

- ①参加者全員が声を出さずにジェスチャーで、誕生日の順番になるように大きな輪をつくる。
- ②並んだ順番に間違いがないかを確認する。全員が集まり終わるまでの時間を計ってもよい。
スタートの日には、1月1日のほか、開催日の日付、記念日など工夫して設定できる。

《フラフープリレー》 準備物／フラフープ 広めの部屋・体育館など

全員が手をつないで大きな輪になり、1か所手を離しフラフープを通します。目標は、手を離さずにフラフープを一周させることです。

大人数で行うほど難しくなりますが、その分達成感も大きくなります。

体の柔軟性を高めるだけでなく、チームワークも養えます。

《お玉ボール運び》 準備物／お玉・ピンポン玉

お玉にピンポン玉を入れ、落とさないようにコースをまわって、次の人に渡す。

ピンポン玉を落としたら、落とした場所から再スタートする。

どのチームが早くまわれるかタイムを競う。

《参 考》

インターネット上にも子ども会を盛り上げるゲームの掲載があります。「レクリエーション」、「小学生向け」などのキーワードで検索するとたくさんのホームページが表示されます。

○レクぼ (<https://www.recreation.jp>)

それぞれの子どもに合わせたプログラムや、地域と連携した行事が行えるのは、地区単位の子ども会を運営する皆さんの準備・協力があってこそです。

参加した子どもたちが無事家に帰るまで、気が抜けませんが、楽しかった!という子どもの声のみなさんの労をねぎらってくれるはず。年度の終わりには、お互い顔見知りになって、地域の輪が広がることでしょう。



子ども会活動を安全に行うために

○安全は危険の発見から

事故防止の第一歩は“危険”を予知することです。特に潜在的な危険を発見し、あらかじめ対策を立てておくことが“危険を回避”し、安全確保につながります。

活動前の会場の下見（安全性の確認）、活動内容は適切か、参加児童・保護者の把握、当日の天候など事前に知っておくべきことから、活動当日の不測の事態が生じた場合の緊急体制対応などがあります。もし、予測しない事態が発生した場合は、臨機応変に対処し、必要に応じて計画を修正するとともに、その状況を記録しておくようにします。

- (1) 活動の当日、指導者・リーダーは早めに実施場所に集合し、会場の点検と安全確認を行います。
- (2) 活動直前に、「安全」に関する子どもたちへの声掛けをしましょう。
- (3) 活動中には、随時参加人数の点検を行い、危険な行動に注意を払い、もし、危険が予測される場合、その都度、全体または個別に適時適切な注意と助言を行います。
- (4) 解散直前には、人数の点検・帰路の交通安全への声掛けをしましょう。
- (5) 不幸にして事故が発生したときは、次の点に配慮します。
 - ・被害者に対する応急処置、保護者への連絡、必要に応じて消防署・病院への連絡
 - ・参加の児童・保護者全員を把握し不安や動揺を与えないように適切な伝達をする
 - ・保険申請に必要な、事故発生の日時・状況を正確に記録し、現場保全に努める

○感染症対策の基本

様々な感染症対策のポイントは、「感染源を断つこと」「感染経路を断つこと」「抵抗力を高めること」です。新しい生活様式を取り入れながら、無理のない子ども会活動を行いましょう。ご家庭によって、感染症に対する考え方が異なる場合がありますが、それぞれの立場を尊重し、お互いを思いやる対策を取るようにしましょう。

～活動の前に～

- ・活動当日の朝は、各自体温を測り、発熱等風邪の症状がみられる場合は参加を控えてもらう。
- ・活動時にはせきエチケット、必要に応じて手洗い・マスクなどを心掛ける。

～活動について～

- ・長時間の活動（2時間以内を目安）は避け、室内であれば、こまめに換気を行う。
- ・活動終了後は借用した机・イス・機器等を清潔にして返却する。

○市民活動保険制度（市民活動災害補償保険）

市民活動保険を利用するために、皆さんが前もって加入の申込みや登録の手続きをする必要はありません。事故が起こった場合は、速やかに子ども育成課にご連絡ください。

対象となる事故（例：子ども会の会員が当事者で、子ども会活動中の事故）

事故の種類	傷害事故	賠償責任事故
内容	偶発的な事故により、自身が、けがをした、死亡した など	第三者にけがをさせた、持ち物を壊した など （身体賠償、財物賠償）
支払われる費用	死亡給付金、後遺障害給付金、入院給付金、通院給付金	治療費、入院費、通院費、休業補償費、修理費、その他の損害賠償費

※5人以上の子ども会活動が対象です。

※学校行事は対象になりません。（「市民活動」とならないため）

○福岡県子ども会育成連合会の加入について

福岡県子ども会育成連合会に加入すると、県子連が主催する次のような事業に参加することができます。（スポーツ大会、伝承遊技大会、指導者研修会、安全啓発指導者養成講習会、功労者の表彰など）

加入には、申込みと年会費（1人200円）が必要です。加入される場合は、必要書類を「全国子ども会連合会」のホームページからダウンロードし、子ども会単位で書類を作成のうえ、総合保健福祉センター（あすてらす）の子ども育成課にご提出ください。必要書類は子ども育成課窓口にもご準備しております。※年会費には、共済掛金の他に賠償責任保険料が含まれています。

▶ 全国子ども会連合会ホームページ(https://www.kodomo-kai.or.jp/kyosai_yousiki/) > 安全共済会と賠償責任保険 > 共済様式ダウンロード > 単位子ども会用 様式番号 03、04、05

〈参考〉

	市民活動保険	全国子ども会安全共済会
死亡給付金	1名につき1,000万円	600万円
後遺障害給付金	30万～1,000万円	7万～600万円
入院給付金	1日につき3,000円	健康保険を適用した医療費総額の30%（限度額50万円）
通院給付金	1日につき2,000円	
賠償（対人）	1名につき6,000万円 （免責5,000円）	1名につき1億円 （免責なし）
	1事故につき3億円 （免責5,000円）	1事故につき5億円 （免責なし）
賠償（財物）	1事故につき300万円 （免責5,000円）	1事故につき200万円 （免責なし）

活用できる制度

○生涯学習人材バンク制度

市民の皆様の要望に応じて、子ども会行事等に講師を派遣することができる制度です。
子ども会行事に取り入れたい内容があれば市役所生涯学習課までご連絡ください。

1. 制度

専門的な知識や技術を持っている人などがボランティア講師として指導・講演などを行う制度です。開催予定日のおよそ1か月前までにご相談ください。

【内容】

活動分野	主な指導内容
スポーツ・レクリエーション	ニュースポーツ、スポーツチャンバラ 等
芸術・文化	絵手紙、書道 等
教養・生活	パソコン、食育、読み聞かせ、整理収納 等
趣味・娯楽	手作り工芸、つまみ細工 等

2. 補助

市からボランティア講師の指導経費(1回 3,000 円以内)を補助します。

ただし1グループにつき年1回です。

※詳しくは、同封のチラシまたは小郡市ホームページをご覧ください。

お問合せ先:生涯学習課 73-2084

○七夕出前講座／モルック体験／ごみ減量リサイクルアドバイザーによる講演

各担当課やアドバイザーが講師として講座などを行う制度です。開催予定日の1か月前までに、担当課へご相談ください。講師料は無料です。(ただし、講座によって材料費が必要になります。)

◆子ども向け防災研修・・・防災安全課(電話 72-2111 内線 242)

◆古代体験(まが玉づくり・印鑑づくり・火起こし体験など)・・・文化財課(電話 75-7555)

◆モルック(ニュースポーツ)体験・・・スポーツ課(電話 72-2111 内線 553)

◆ごみ減量リサイクルアドバイザーによる講演・・・生活環境課(電話 72-2111 内線 153)

活動チェックシート

資料①

活動を計画・実施するにあたり、以下の項目について確認しましょう。
 また、確認は事前に行うだけでなく、実践後にも必ず行い、反省点などをまとめるなどして、次回に役立てるようにしましょう。

1、プログラムの作成		確認
①	子ども会活動としての目的が盛り込まれていますか？	
②	子どもたちの学年・体力などを考えたプログラムですか？	
③	会場の広さ・関わる大人の人数に対して、子どもの参加人数に無理はありませんか？	
④	事前準備のための役割分担は決めましたか？	
⑤	タイムスケジュールに無理がありませんか？	
⑥	救急道具を用意しましたか？	
⑦	参加者の服装・持ち物などの確認をしましたか？	
⑧	避難場所を確認しましたか？	
⑨	緊急車両の確保はしましたか？	
⑩	緊急時の連絡先、保護者や関係者への連絡体制はできていますか？	
⑪	携帯電話はつながりますか？	
2、野外で活動する際の下見のチェック		
①	実施場所周辺の下見をしましたか？	
②	野外の開催では地形を確認しましたか？	
③	危険個所の確認はしましたか？	
④	地元の方からの情報を得ましたか？	
⑤	交通手段は安全ですか？	
⑥	子どもたちの活動範囲を決めましたか？	
⑦	自然環境での変化に伴う対応は確認できていますか？	
⑧	活動エリアを見渡せる場所を確認しましたか？	
⑨	トイレ・着替え・日陰・休憩場所の確認をしましたか？	
⑩	連絡方法・体制の確認をしましたか？	
⑪	周りの病院の連絡先などの確認はしましたか？	

3、活動当日のチェック		確認
①	天気予報を確認しましたか？	
②	育成者(保護者)・子どもたちの役割分担を確認しましたか？	
③	指導者は早めに集合し、受け入れ体制の確認・準備用具のチェックを行いましたか？	
④	子どもたちおよび保護者の健康チェックをしましたか？	
⑤	情緒不安定傾向の子どもや注意を要する子どもへの個別的配慮はできましたか？	
⑥	定期的に人数確認をしていましたか？	
⑦	子どもの単独行動にならないように配慮していましたか？	
⑧	プログラムの進行状況を管理していましたか？	
⑨	帰路の交通安全の一声をかけましたか？	
⑩	保護者に子どもに関する関連事項をつたえましたか？	
4、事後のチェック		
①	<p>【活動内容や安全対策に対する反省】</p> <p>ア、参加した子どもたちに活動のアンケートをとり、次回に役立てるようにしましたか？</p> <p>イ、活動は楽しく、危険を感じなかったか、事前の安全のきまりは守れたか？</p> <p>ウ、子どもたちはお互いに良い関係性を築けましたか？</p>	
②	<p>【不幸にして、事故が起きた場合】</p> <p>ア、救急体制に切り替え、処置を行いましたか？</p> <p>イ、必要に応じて消防署、病院などへ連絡しましたか？</p> <p>ウ、事故にあった子どもの保護者への連絡はしましたか？</p> <p>エ、参加者全体を掌握し、不安や動揺を与えないように適切な情報を伝達しましたか？</p> <p>オ、事故発生の日時、状況などを正確に記録し、現場保全に努めましたか？</p>	
③	<p>【反省会】</p> <p>今後どんなことに注意したらよいか、保護者・子どもの感想・反省をふまえ、次のような点から反省・評価しましょう。</p> <p>ア、計画・実施の各段階における役割分担は適切でしたか？</p> <p>イ、指導体制や緊急・救急の際の対応や処置は適切でしたか？</p> <p>ウ、よかった点、悪かった点、対応策は共有できましたか？</p> <p>エ、家庭の理解と協力は得られましたか？</p>	
④	協力機関(公民館や地区の方)への連絡、挨拶はしましたか？	

年間計画の例

(様式 1)

令和 年度の目標			
「 思いやりの気持ち ・ みんなでなかよく 」			
月	活動内容	開催場所	対象
4	歓迎会	公民館	全学年
5			
6			
7	夏祭り	神社	全学年
8	ラジオ体操	公園	全学年
9			
10	グランドゴルフ	公民館	全学年
11	敬老会	公民館	1・6年生
12	クリスマス会	公民館	全学年
1	餅つき・ぜんざい会	公民館	全学年
2	6年生お別れ会	公民館	全学年
3	子ども会育成会総会	公民館	全学年保護者

行事計画の例

(様式 2)

行事名	「新 1 年生歓迎会」
日時	令和 年 月 日() (受付 時 分～) 時間 午前10時～12時
目的	新1年生との顔合わせをして、子ども同士で仲間づくりをする
事前準備	・名札作成 ・当日の出し物を各班で準備する ・案内配布
プログラム	①新一年生の入場 ②はじめの言葉 ③新入生の紹介 ④ゲームと歌 ⑤出し物 ⑥お礼のことば ⑦お話 ⑧おわりの言葉
係分担	◇進行係:司会 ◇案内係:新入生の名札・当日の名札 ◇会場係:会場の飾りつけ、いす並べ ◇音楽係:歌の伴奏・音源 CD・プレーヤー装置 ◇広報係:案内状を作って配る

活動記録の例

(様式 3)

行事名	お楽しみ会	行事責任者	
開催場所	〇〇公民館	記録係	
開催日時	令和 年 月 日() (受付 時 分～) 時間 午前10時～12時		
参加人数	合計 名(小学生 名、幼児 名、保護者 名)		
事前準備	<ul style="list-style-type: none"> ・当日の出し物・ゲームで使う物の準備 ・ビンゴゲームの商品の準備 		
プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ①じゃんけんゲーム ②たま転がしゲーム ③ビンゴ大会 		
良かった点	<p>高学年が低学年と組んでゲームができた。</p> <p>高学年が自主的に動いてくれた。</p>		
反省点	<p>じゃんけんゲームに時間がかかりすぎた。</p>		
その他感想	<p>はじめの頃に比べると、みんなで一緒に楽しめるようになった。</p>		

引継ぎ書

(様式 4)

月	日	内容	具体的内容
		次年度役員選出 業務引継ぎ 名簿作成・提出	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度役員(会長・副会長・会計・書記)選出 ・係ごとの話し合い(業務引継ぎ) ・子ども会・子ども会育成会役員名簿の作成・提出 (回答フォーム・Eメール・ファクス・郵送のいずれかで、子ども育成会まで提出)
		子ども会育成会研修会	新役員対象の研修会への参加
		総会の準備 総会	<ul style="list-style-type: none"> ・総会資料の作成 (事業報告・計画／予算・決算) ・新入生の確認 ・新年度活動計画の話し合い
年間 行事		子ども会活動 各種行事の準備	<ul style="list-style-type: none"> ・事前打ち合わせ、案内作成、準備 ・参加者確認、司会進行、係の役割 ・ふりかえり
		ふりかえり・引継ぎ準備	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度全般のふりかえり ・次年度に向けての話し合い ・係ごとの引継ぎ書作成
次年度に向けての課題			